

地質・地盤・地震動に係る審査会合・ヒアリング・面談コメントリスト_回答状況

No.	日付	審査会合・ヒアリング・面談	コメント内容	回答状況等	
1	2022.1.24	第1回ヒアリング (地盤、地震、津波、火山)	標準応答スペクトルに適合する地震動の設定位置を、深部地盤モデルにおける地震基盤としていることについて、深部地盤モデルの作成経緯を踏まえた設定であり、保守性を考慮して設定していることを記載すること。(資料1 P6, 7)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-1	
2			敷地における地震計の配置等の情報を追記すること。(資料1)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-1	
3			波形作成にあたってのスペクトル比及びSI比の考え方についてJEAGに基づいていることを記載すること。(資料1 P10, 11)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-1	
4			模擬地震波作成における最大加速度値の設定の考え方を整理すること。(資料1 P14)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-1	
5			正弦波の重ね合わせ及び観測記録位相に基づく地震動について、解放基盤表面レベルでの比較を示すこと。(資料1 P24)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-1	
6			正弦波の重ね合わせによる手法における振幅包絡線の設定にM6.9を用いることの考え方について整理すること。(資料1 P9)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-1	
7			正弦波の重ね合わせによる方法で策定した模擬地震波の優位性の検討方法について、構造物への影響の観点で採用している3種類の資料上の取り扱いを再検討すること。(資料1 P15~21)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-1	
8			図幅に示している朝比奈平周辺のリニアメント・変動地形をフォローした上で、資料に追加もしくは会合で説明すること。(資料2)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-2	
9			上原子断層-七戸西方断層の連動を考慮する範囲の長さについて、各図の関連が分かるように図を示すこと。(資料2 P8)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-2	
10			津波	青森県の結果との比較で示している事業者の結果について、尾駁沼入り口前面の津波高さを示す等、評価の比較が分かりやすくなるように記載を検討すること(資料2)	2022.2.4 第430回審査会合 資料1-2
11	2022.2.4	第430回審査会合	地震	正弦波の重ね合わせによる模擬地震波の作成にあたり、振幅包絡線の設定に用いるMの値については、保守性の観点でM7.0とすること。	今回第2回ヒアリングで説明予定。
12			地震	正弦波の重ね合わせ及び観測記録の位相を用いる方法による地震動の大きさに有意な差が無いとした上で、正弦波の重ね合わせによる方法による模擬地震波を代表として扱っていることについて、考え方を資料に記載すること。	今回第2回ヒアリングで説明予定。
13			地質	砂子又層と浜田層の名称が野辺地図幅と事業許可申請書で異なることについて、事業許可申請書上で対応がわかるようにすること。	今回第2回ヒアリングで説明予定。
14			火山	新知見による主な変更点だけでなく、既認可の審査資料から変更となる点について漏れなく反映すること。	今回第2回ヒアリングで説明予定。

:回答済みのもの
 :今回(第2回ヒアリング)回答するもの